

令和4(2022)年7月22日

学生のみなさんへ

広島文教大学長 森下 要治

新型コロナウイルス第7波感染拡大の防止について

新型コロナウイルスの感染が国内で初めて確認されてからすでに2年半以上が経過しました。これまで、本学においても行政の方針に従ってさまざまな感染予防策を講じ、学生のみなさんも、教職員も、感染を広げないための努力を重ねてきました。この間のみなさんの努力と協力に、改めて感謝の意を表します。本当にありがとうございます。

ご存じのように、最近、従来のウイルスよりも感染力が強いとされるBA.5への置き換わりによる感染拡大が全国に広がり、日本全体が感染の第7波に入ったと言われていています。このBA.5ウイルスのまん延によって、感染拡大がこれまで以上に急激に進むとの見方も示されています。以前にもお伝えしたことですが、新型コロナウイルス感染のリスクは、私たち一人ひとりの日常生活のすぐそばにあると言わねばなりません。

このような状況下においては、私たち一人ひとりが、社会全体を守るための手立てに自覚的に関与することが求められます。感染しないために、感染を広げないために、改めて次のような基本的な感染対策を心がけましょう。

1. 手洗い、うがい、手指消毒などを徹底する。
2. 屋内で会話する場合や、屋内外を問わず身体的距離が確保できない場合には、マスクを着用する。
3. エアコン稼働時にも、適切な換気を行う。
4. できるだけ新型コロナワクチン接種を受ける。

特にワクチン接種は重要です。私たち一人ひとりが感染しないことが何より重要ですが、新型コロナウイルスワクチンを接種していれば、万が一感染した場合であっても、発症や重症化のリスクを軽減できるとされています。何より懸念されるのは、感染し発症した本人がつらく苦しい思いをすることであり、また、身近な人への二次的な感染です。重症化すれば、最悪の場合には生命の危険がありますし、症状が治まった後に重い後遺症で長く苦しむ事例も報道されています。

ワクチン接種を受けるかどうかの判断が、みなさん一人ひとりに委ねられているのは言うまでもありません。しかし、健康上の条件が許せば、ぜひ接種を前向きに検討してほしいと思います。

基本的な感染対策を徹底し、皆で健康で安全なキャンパスの環境を守りましょう。